

出題番号	科目	範疇	内容	正解	ランク	コメント
1	憲法	人権各論	取材の自由	5	A	基本かつ重要判例で正解可
2	憲法	人権総論	主権の概念	3	B+	相対的な判断、ウオの誤りが判断しやすいか
3	憲法	統治	司法権	1	A	エオで若干迷うも、選択するならエを外せない
4	民法	総則(自然人)	不在者財産管理人	4	B+	1~3は大きく同じ考え方で判断可能。5はなければならぬに違和感を持たたかどうか
5	民法	総則(代理)	無権代理	3	A	基礎知識、過去のレベル
6	民法	総則(時効)	時効	2	A	アウの過去のレベルの知識で判断可能、エの判断は若干迷うかも
7	民法	物権	不動産の物権変動	5	A	アイが鉄板知識
8	民法	物権	即時取得	2	B+	エで若干迷う。2択までは絞りたい。オまで読めば正解にたどり着ける。
9	民法	物権	動産の占有権	1	A	アとエで判断可能
10	民法	用益物権	地上権	5	B	134は選んではいけません。2か5は事前に学習はしてない知識かと思います。
11	民法	担保物権	先取特権	3	A	解きやすい問題
12	民法	担保物権	抵当権(物上保証)	2	A	アオが間違いなく判断できます
13	民法	担保物権	法定地上権	3	A	過去問の焼き直しです
14	民法	担保物権	共同抵当権	3	A	過去問レベルの問題です
15	民法	担保物権	譲渡担保	4	B+	イの判断をし、ウとエを相対的に判断。エは所有権の譲渡が生じていない、という文言にアンテナを立てられたかがポイントです
16	民法	債権総論	債務不履行による損害賠償	1	A	基礎的な問題です
17	民法	債権総論	連帯債務と連帯保証	1	A	過去問レベルの問題です
18	民法	債権各論	不動産賃貸借	5	A	アは鉄板。売買は賃貸を破る。ということが浮かべばイウの判断で正解可能。
19	民法	債権各論	不法行為による損害賠償	4	A	アウの×で、エも保険料を払った対価なので、と思えば判断可能。
20	民法	親族	内縁関係	3	A	全部判断が容易な問題
21	民法	親族	財産管理権	1	A	アエの判断はしやすい問題
22	民法	相続	相続と登記	4	A	過去問の焼き直し
23	民法	相続	遺留分	2	A	基本知識のみからの出題

出題番号	科目	範疇	内容	正解	ランク	コメント
24	刑法	刑法総論	間接正犯	1	A	アの判断をして、ウの判断を先にすれば正解しやすい。オを見ると迷うかも。
25	刑法	刑法各論	窃盗罪	2	A	アイオの過去問レベルの知識で正解可能
26	刑法	刑法各論	国家的法益に対する罪	5	A	どの選択肢も判断しやすい。自信のある選択肢で判断すれば正解できる。
27	会社法	設立	株式会社の設立	5	A	よく出る設立の問題、募集の言葉を読み飛ばさなければ大丈夫。
28	会社法	株式	株式の担保化	4	B	諦めずに判断すると、エオは判断可能。イウはセットで考えて質権者の保護を考えて判断
29	会社法	株式	単元株制度	4	A	基本問題です
30	会社法	機関	大会社の機関設	4	B+	知識は一つずつは基本的です。個数という形式で正答率は下がるかと思います。
31	会社法	機関	監査役会設置会社と監査等委員会設置会社	1	C	せめて組み合わせて出してよ。と試験中に思いました。
32	会社法	持分会社	持分会社	5	C	これは4までしか見ないと4にしてしまいます。5は条文ですが、細かいです。
33	会社法	組織再編	新設分割	2	A	アオで判断しましょう。
34	会社法	訴訟	特定責任追及の訴え	2	B	しっかりと関係図を書いて読んでいけば、2択までは絞れるかと思います。
35	商法	商業使用人	個人商人の支配人	2	B+	アの判断はできる。ウは細かいです。競業の場合のみの規定です。オは有名なのでこちらを軸に判断できれば。

A	24	絶対に正解すべき問題
B+	6	基準点までは半分くらい、合格点なら半分以上正解したい合否を分ける問題
B	3	正解できなくても仕方ない問題
C	2	正解が厳しい問題